

# 地域と時を紡ぐ人々

連綿と受け継がれる地域の伝統や芸能、自然などを次代に継承する方々を、広報たかやまではシリーズで紹介しています。

## 第八章 希少なバイカモを地域ぐるみで守る

行われ、宮小学校の6年生や町民、高山国道事務所職員ら約70人が参加しました。

バイカモはキンポウゲ科の水草で豊富な湧水がある清流に育ちます。水面や水中に梅の花に似た直径1cmの白い花を咲かせ、県レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

工場の影響を受ける約80株を自



児童に説明する早川さん

生域の最上流部に移植。地元でバイカモの保護に取り組む「水無バイカモを守る会」(早川克也会長)の指導を受けながら、児童たちは川底に石で固定しながら植えていきました。

早川さんは「地元の貴重な自然を子どもたちが直接体験して学んでくれたことがうれしい。これからも続けたい」と語り、いつの日かバイカモが咲き乱れ、夏休みには子どもたちがバイカモに潜む魚を手づかみする、歓声がこだまする川にしたいと目を細めていました。

### 常泉寺川のバイカモ(梅花藻)

常泉寺川の飛驒一宮水無神社前から下流約700mにわたり自生。平成16年の台風23号による大水で全滅しかけるも、守る会をはじめ地域の人たちの保存活動で回復しました。



白い花を咲かせるバイカモ自生地で移植作業する児童(飛驒一宮水無神社前の常泉寺川で)

## 市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

8月8日(金)

午前9時～正午

※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで

※出張や特別な行事がある場合は除きます。  
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

●市長室直通FAXもご利用ください  
FAX●32-7000

問合せ | 秘書課 ☎35-3130

広報  
市長だより  
32

もつと森林に  
目を向けよう

高山市長 國島芳明

ケーブルテレビの番組「ハイ、副市長です」で一之宮町のセラミック炭や千代田区との連携が取り上げられていました。間伐材を活用した特殊な炭が枯死寸前だった臥龍桜を復活させたこと、森が縁で千代田区との交流が進み、同町内の市有林整備が進んでいることなどを伝える内容です。いずれも共通することは森林です。古くから先人は森の恩恵に感謝し、森に畏敬の念を抱き、森を育て、活用してきました。現在の私たちはその延長に生きています。先人の思いや努力、知恵をきちんと後世に継いでいかなければなりません。日本一広い高山市の約92%は森林です。森を知り、森に親しみ、森と触れ合うことは、私たち高山市民こそが率先して取り組む身近で大切な一歩ではないでしょうか。

市は「いのちの森づくり」をはじめ、森や木に親しむさまざまな施策を講じています。ぜひ機会をとらえて森や山、木などに目を向けてください。

ケーブルテレビの番組「ハイ、副市長です」はインターネットでもご覧いただけます。  
<http://www.city.takayama.lg.jp/net-tv/index.html>

2014.8.1